

聖霊降臨後第5主日特禱（特定7）

すべてのよい賜物を造り、これを与えてくださる力ある神よ、み名を愛する愛をわたしたちの心に植え、まことの信仰を増し加え、すべての善をもって養い、み恵みのうちにこれを保たせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 ヨブ記書38章1節～11節、16節～18節

38:1 主は嵐の中からヨブに答えられた。2 知識もないまま言葉を重ね、主の計画を暗くするこの者は誰か。3 あなたは勇者らしく腰に帯を締めよ。あなたに尋ねる、私に答えてみよ。4 私が地の基を据えたとき、あなたはどこにいたのか。それを知っているなら、告げよ。5 あなたは知っているのか、誰がその広さを決め、誰がその上に測り縄を張ったのかを。6 地の基は何の上に沈められたのか。誰が隅の親石を据えたのか。7 夜明けの星々がこぞって歌い、神の子らが皆、喜び叫んだときに。8 海がその胎内からほとばしり出たとき、誰が海の扉を閉じたのか。9 私が雲をその上着とし、密雲をその産着としたときに。10 私は海のために境を定め、かんぬきと扉を設けた。ヨブ 38:11 私は言った。「ここまでは来てもよいが、越えてはならない。あなたの高ぶる波はここで止められる」と。

16 あなたは海の源まで行ったことがあるか。深い淵の奥底を歩いたことがあるか。17 死の門があなたに姿を現したか。死の陰の門をあなたは見たことがあるか。18 あなたは地の広がりを感じたのか。そのすべてを知っているなら、言ってみよ。

詩編 第107篇1-3、23-32節

1 「主に感謝せよ、主は慈しみ深く // その憐れみは永遠」

- 2 主に贖われた者は叫べ // 神は彼らを敵の手から救い出し
- 3 東と西、北と南の // すべての国から集められた
- 23 神に向かって船出する者 // 海を渡って商いする者
- 24 彼らは大海原で主のみ業と // 不思議なみ業とを見た
- 25 神が命じられるとあらしが起こり // 波を高く上げた
- 26 船は天まで上がり、淵まで下り // 彼らは生きた心地もしなかった
- 27 酔った人のようによろめき // なすすべも知らなかった
- 28 彼らが苦しみの中から主に助けを求めると // 神は悩みから彼らを救い出された
- 29 あらしは鎮められ // 海はなぎとなった
- 30 神は彼らの目ざす港に導かれ // 彼らは静かな海を楽しんだ
- 31 人の子らよ、主の慈しみと // その不思議なみ業のゆえに、主に感謝せよ
- 32 民の集いで神をあがめ // 長老たちの集まりで神をたたえよ

使徒書 コリントの信徒への手紙二 5章14節～21節

5:14 事実、キリストの愛が私たちを捕らえて離さないのです。私たちはこう考えました。すなわち、一人の方がすべての人のために死んでくださった以上、すべての人が死んだのです。15 その方はすべての人のために死んでくださいました。生きている人々が、もはや自分たちのために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活してくださった方のために生きるためです。16 それで、私たちは、今後誰をも肉に従って知ろうとはしません。かつては肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもうそのように知ろうとはしません。17 だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです。18 これらはすべて神から出ています。神はキリストを通して私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに授けてくださいました。19 つまり、神はキリストにあって世をご自分と和解させ、人々に罪の責任を問うことなく、和解の言

葉を私たちに委ねられたのです。20 こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるので、私たちはキリストに代わって使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神の和解を受け入れなさい。21 神は、罪を知らない方を、私たちのために罪となさいました。私たちが、その方にあって神の義となるためです。

福音書 マルコによる福音書 4章35節～41節《5章1—20節》

4:35 さて、その日の夕方になると、イエスは弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われた。36 そこで、彼らは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。37 すると、激しい突風が起こり、波が舟の中まで入り込み、舟は水浸しになった。38 しかし、イエス自身は、艫の方で枕をして眠っておられた。そこで、弟子たちはイエスを起こして、「先生、私たちが溺れ死んでも、かまわないのですか」と言った。39 イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。40 イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信仰がないのか。」41 弟子たちは非常に恐れて、「一体この方はどなたなのだろう。風も湖さえも従うではないか」と互いに言った。

《5:1 一行は、湖の向こう岸にあるゲラサ人の地方に着いた。2 イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた霊に取りつかれた人が墓場から出て来て、イエスに会った。3 この人は墓場を住みかとしており、もはや誰も、鎖を用いてさえつなぎ止めておくことはできなかった。4 度々足枷や鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり足枷を砕くので、誰も彼を押さえつけることができなかったのである。5 彼は夜も昼も墓場や山で叫び続け、石で自分の体を傷つけていた。6 イエスを遠くから見ると、走り寄ってひれ伏し、7 「いと高き神の子イエス、構わないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい」と大声で叫んだ。8 イエスが、「汚れた霊、この人から出て行け」と言われたからである。9 イエスが、「名は何と言うのか」とお尋ねになると、「名はレギオン。我々は大勢だから」と答えた。10 そして、自分たちをこの地方から追い

出さないようにと、しきりに願った。11 ところで、その辺りの山に豚の大群が飼ってあった。12 汚れた霊どもはイエスに、「豚の中に送り込み、乗り移らせてくれ」と願った。13 イエスがお許しになったので、汚れた霊どもは出て、豚の中に入った。すると、二千匹ほどの豚の群れは、崖を下って湖になだれ込み、湖の中で溺れ死んだ。14 豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせた。人々は何が起こったのかと見に来た。15 そして、イエスのところに来ると、レギオンに取りつかれていた人が服を着、正気になって座っているのを見て、恐ろしくなった。16 成り行きを見ていた人たちは、悪霊に取りつかれた人に起こったことや豚のことを人々に語って聞かせた。17 そこで、人々はイエスにその地方から出て行ってもらいたいと願い始めた。18 イエスが舟に乗ろうとされると、悪霊に取りつかれていた人が、お供をしたいと願った。19 しかし、イエスはそれを許さないで、こう言われた。「自分の家族のもとに帰って、主があなたにしてくださったこと、また、あなたを憐れんでくださったことを、ことごとく知らせなさい。」20 そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことを、ことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。》